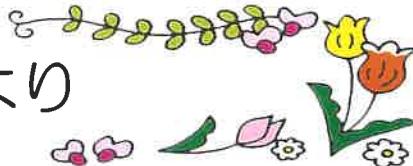




ほけんだより



R6.4月
美保里こども園

ご入園・ご進級おめでとうございます。
ドキドキワクワクの中で、新しいクラスでの生活がスタートしました。子どもたち
が楽しく健やかに成長していくよう、見守っていきたいと思います。

登園前の健康チェックを
お願いします



きげんは？

- いつもより元気がない
- いつもと様子が違う

顔色・表情は？

- 顔が赤い
- 顔が青白い

体の動きは？

- 姿勢が悪い
- ぼんやりしている
- ゴロゴロしている

咳や鼻水は？

- 鼻水、鼻づまり、口呼吸
- 痰がからんでいる
- 苦しそうにしている

便や尿の様子は？

- 回数や状態（色や固さ）
においがいつもと違う

子どもの言葉は？

- 気持ち悪い、疲れた、
しんどい、眠い、寒い、
熱いなど訴えはないか？

お子さまの平熱
ご存じですか？

いつもと違う・・・と思ったらまず検温をしてください。
また、気付いたことがあれば、職員にお伝えください！

一般的に子どもの発熱の目安は37.5℃です。特に0歳児は環境の影響を受けやすいものです。

また、体温は1日の中でも変動します。タイミングをきめて毎日の検温を習慣づけましょう。

園生活は集団生活ですので37.5度を超えるとご連絡させて頂きます。

解熱剤、正しく使って

どんなときに使う？

熱で寝つけない、
飲んだり食べたりできないときに
飲ませましょう。

ただ単に熱があるからと飲ませるのではなく、「睡眠をとって体力を回復させるため」「水分をとって脱水を防ぐため」など、必要なときに使いましょう。



高い熱が出ると心配になるのですが、

発熱は体が病原体と戦うための生理的な反応。

熱を下げることで治りが早くなるわけではありません。

熱が下がれば大丈夫？

効果が切れたままだ熱が上がります。
解熱の判断は24時間以上
熱が出ないときです。

解熱剤の効果で熱が下がるのは5~6時間ほどで、効果が切れたままだ熱が上がることがほとんどです。引き続き様子を見て、静かに過ごさせましょう。解熱剤で熱を下げて無理をさせると、かえって病気が長引くおそれがあります。

